

第31回

定期決算総会議案

平成22年度 事業報告書

平成22年度 収支計算書

貸借対照表

財産目録

その他

日時 平成23年6月10日（金） AM9：30 受付

場所 なかのZERO 小ホール
中野区中野2-9-7 TEL03-5340-5000

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

第31回 決算総会式次第

司会 岡田(松) 副会長

午前10時00分～

1. 開会の辞 岡田(松) 副会長

2. 会長挨拶 高山 会長

3. 来賓祝辞 祝電披露

4. 議長選任

5. 定数報告及び議事録署名人の指名

6. 議案審議

第一号議案 平成22年度事業報告承認の件 志摩 副会長

第二号議案 平成22年度決算報告承認の件 岡田(松) 会計

監査報告 久住 監事

第三号議案 一般社団法人移行新役員人事の件 服部 副会長

第四号議案 その他

7. 表彰状授与

(1) 永年勤続者表彰

• 配置員 5年、10年、20年

• 配置販売業者表彰 10年、20年、50年、60年

• 優良配置販売業者表彰

(2) 受賞者代表謝辞

8. 閉会の辞 志摩 副会長

午後1時30分～4時30分（午後1:00～受付）

講習会

資質向上講習

「第二章 人体の働きと医薬品」

講師 薬都廣貫堂 株式会社 東京支社

管理薬剤師 岸 岡 勝 美 先生

午後5時00分

懇親会

大会スローガン

1. 薬事知識と資質の向上に努め、地域保健医療に貢献しよう。
2. 先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。

ごあいさつ

会長 高山 友三郎

我が国では国民一人一人が自分の健康を自分で守る「セルフメディケーション」の実現が急務となり、家庭の健康を支えてきた配置薬業界に対し大きな期待が寄せられております。このような中で配置販売業に従事する配置業者の年間 30 時間以上の一定水準研修・講習の受講、新配置販売業に従事する配置従事者の体制省令に基づく研修の実施が求められております。

一般社団法人東京都医薬品配置協会では改正薬事法に即した新たなカリキュラムによる研修・講習会を引き続き実施し、配置従事者の資質向上に全力を傾注して参りたいと存じます。

改正薬事法が平成 21 年 6 月 1 日より全面施行され、医薬品の販売業務に携われるのは薬剤師及び登録販売者の専門家に限定されました。その一方で既存業者としての営業も継続、既存で営業を続ける事に対しては年間 30 時間以上の一定水準研修・講習の受講が課せられております。これも既存で営業が続けられる事を担保するものです。

会員各位におかれましては、この制度をご理解頂き資質向上一定水準研修・講習会を積極的に受講されます様お願い申し上げます。

一般社団法人東京都医薬品配置協会では、業界発展の為に資質向上研修・講習会の受講が何より大切であると考え、今後も都民に信頼される配置従事者・登録販売者等の専門家の育成事業に全力を傾注して参ります。

どうか会員一同の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

平成 22 年度 事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

[概況]

この年の気象は夏の猛暑、冬の寒波が厳しく降雪地域での積雪量も多く、激暑と寒波で高齢者らの健康面に大きく影響をもたらした。また、年度末の 3 月 11 日午後 2 時 46 分観測史上最大級マグネチュード 9.0 となる東北地方太平洋沖地震が発生、大きな被害を受け自然災害の多い一年でした。

地方念願の政権交代は実現したものの失態続きの民主政権、社会的には政治不信・政治家不信がその極みに達し、日本政治の混迷ぶりは国際社会の不安を増幅させるばかりである。その後も新しい布陣の元で政策の実現を図りたいところだが内閣改造するも支持率は改造効果も無く低迷を続けている。

そもそも新政権に切り替えるという選択は単に参院選を控えて政権の頭をすげ替えただけでなく、衆院選のマニフェストを参考、再編成する絶好の機会だったと言える。実際に政権の座についてマニフェストは各項目でプライオリティが定まらず、財源との関係が不明確であり政権が責任を問われるも必然的だった。果たして現政権下において政治とカネ、北方四島、尖閣諸島の領土問題、普天間の行き詰まりを一気に片付け景気・雇用対策など国内外ともに難問山積の状況を改革できるのか本格的な政権運営が問われるのはこれからだ。

医薬品業界でも半世紀ぶりの薬事法改正が全面施行され新販売制度も 3 年目を迎えました。新制度は一般用医薬品をリスクの程度に応じて分類し、それぞれ情報提供と相談対応の方法を定めたもので、薬剤師以外で販売に従事できる新たな専門家として登録販売者制度が導入されました。

一方新配置業者・従事者については改正法の販売体制省令で配置業務の適正な管理を確保する為、配置業務の研修・講習会実施が業許可要件となっている。

また、既存配置業者の配置従事者の資質向上「一定水準研修・講習会」では年間 30 時間以上の座学形式（通信教育含む）の受講が義務付けられています。

一般社団法人東京都医薬品配置協会としてもこの資質向上研修・講習会開催については最大事業と位置付け、制度を充実させ実施して参ります。

改正薬事法による新医薬品販売制度に対し、配置販売の未来を拓く糸口は『登録販売者試験の合格』にあると確信致します。

薬の専門家として堂々と業を続ける為、積極的に研修・講習会を受講し、資質向上に努め、資格取得に挑戦し既得権を最大限に活かして有資格者となり都民の保健衛生に寄与する事が我々の責務であります。

尚、協会運営につきましても法人制度改正にともないこの一年その対応に取り組んで参りました。制度改革では一般社団法人・一般財団法人・公益法人に分類、東京都医薬品配置協会でもこれまでに多くの公益性に優れた事業を展開し、公益法人移行を目標として説明会・勉強会に参加、専門家や関係機関への相談も重ねて参りましたが、そのハードルが高く一般社団法人認可へと方向転換。この一年準備して来ました。執行部・理事・役員の理解と協力の元、顧問税理士の先生の指導を受け作業を進めて参りました。定款変更、管理、業務、システムの見直し等試行錯誤しながらようやく一般社団法人の認可を頂く事となりました。期末決算で発展的解散とし、新年度より一般社団法人東京都医薬品配置協会としてスタート、関係機関や諸団体と連携と協調を図りながら強力な組織基盤作りと新しい視野にたち協会の活動に全力を挙げて取り組んで参る所存です。

会員の皆様には尚一層のご理解とご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 会議等

1. 決算総会：平成22年6月11日 なかのZERO小ホール

- (1) 平成21年度事業報告、決算報告を承認
- (2) 定款変更の件
- (3) 役員改選 承認の件
- (4) 表彰状授与 優良配置業者2名、永年勤続者13名

予算総会：平成23年3月8日 なかのZERO小ホール

- (1) 平成23年度事業計画、収支予算案を承認

執行部会：4月13日

- ①決算総会資料作成準備

7月13日

- ①一般社団法人移行財務会計の件

- ②平成23年度担当関配協総会について

8月20日

- ①一般社団法人移行書類準備について

8月27日

- ①23年資質向上講習会・通信教育の日程と内容について

- ②関配協総会の件

11月9日

- ①23年度予算案の件

- ②関配協総会（担当県）の件

- ③「あゆみ60号」作成について

- ④通信教育の件

11月26日

- ①予算案の件

- ②23年講習会講師の件

役員会：4月28日

- ①決算承認、決算総会の件

- ②定款と一般社団法人移行の件

- ③一定水準資質向上講習会受講義務化の件

- ④ホームページについて

6月25日

- ①資質向上講習会予備日について

- ②22・23年役員役割分担について

- ③薬草勉強会、「6・26麻薬撲滅都民大会」参加者の件

- ④委託講習会について

9月14日

- ①23年資質向上講習会・通信教育の日程と内容の件

- ②薬務課 薬物乱用防止啓発委託料について

- ③平成22年度一斉献血の件

- ④平成23年実施 関配協総会の件（担当県）

12月10日

- ①平成23年度予算総会の件

- ②平成23年関配協総会について

- ③「あゆみ60号」発行と「記念誌」について

- ④通信教育の件

1月20日

- ①平成23年関配協総会の件

- ②23年度薬事功労推薦候補者の件

- ③予算総会準備詳細について

- ④23年第1回資質向上講習会の件

2. 支部活動

各支部：4月・5月に支部総会及び講習会実施

東部支部：8月19日 薬草勉強会、「ダメ。ゼッタイ。」募金活動
(多摩支部)

Ⅱ 事業内容

1. 会員教育事業

(1) 講習会

・薬事講習会（支部会員対象）

4月 2日 東部支部「応急救護訓練 AED の使用」

上野消防署 下谷出張所担当者

5月 25日 多摩支部 今年度講習なし

5月 25日 西部支部「行政と配置の現況と未来について」

石倉医薬品産業(株) 代表取締役 石倉 宗昌

・薬事講習会（東京都登録全配置販売業者対象）

6月 11日 なかのZERO小ホール

「第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識」

薬都廣貫堂(株)東京支社 管理薬剤師 岸岡 勝美

3月 8日 なかのZERO小ホール（日配商と共催）

「第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識」

「第4章 薬事関係法規・制度」

救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

・薬事講習会：東京都より委託（東京都登録全配置販売業者対象）

9月 9日 都民ホール

「最近に薬務行政」

東京都福祉保健局健康安全部薬務課 課長 古屋 正裕

「薬事法改正と配置販売業」

東京都福祉保健局健康安全部薬務課薬事免許係 係長 及川 暁

「薬事関係法規・制度」

救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

11月 5日 なかのZERO小ホール

「麻薬・覚せい剤乱用防止啓発の話」

「理念・倫理・関連法規」

救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

(2) 一定水準 30 時間資質向上講習会（東京都登録全配置販売業者対象）

4月 9日 武蔵野スイングホール

「第2章 人体の働きと医薬品」 10問テスト・解説

(社) 東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

6月 11日 上記記載同

8月 6日 帝都医薬品配置協同組合会議室

「第2章 人体の働きと医薬品のポイント」

「第3章 主な医薬品とその作用のポイント」

10問テスト・解説

(社) 東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

2月 3日 武蔵野スイングホール

「第3章 主な医薬品とその作用」

(社) 東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

3月 8日 上記記載同

2. 都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1) 消費者講座：8月19日 薬物乱用防止と薬草勉強会

参加者数 58名 担当 東部支部（多摩支部）

園内にはキャラバンカーを呼び、東大和市駅前では多摩支部員により「ダメ。ゼッタイ。」の募金活動が行われた。また、東京都薬務課麻薬対策係の弦間格先生のお話と東京都薬用植物園 北川重美園長によるお話の後、園長・職員による説明を聞きながら植物園内を見学。

(2) おきぐすり相談窓口

相談件数9件の内、行政における消費者相談の窓口からは5件、消費者からは4件。

3. 薬務行政協力事業

(1) 麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月26日「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い（東京都主催）

渋谷区ケアコミュニティ美竹の丘

高山会長以下23名が参加し、募金の呼びかけ、紙風船の配布等参加協力した。

(2) 献血協力

① 平成22年10月17日：立川献血ルーム、献血ルーム吉祥寺タキオン、献血ルーム池袋い〜すと、有楽町献血ルーム、新宿東口献血ルーム

当会員関係より23名の協力を得て、当日の総採血数951名の実績を残した。

4. 配置薬業向上改善事業

(1) 機関紙「あゆみ」60号発行

(2) 関係団体会議出席

平成22年	4月21日	全配協会議	…於) 東京
	5月18日	関東配置薬協議会通常総会	…於) 神奈川
	6月21日	全配協配置部会会議	…於) 東京
	6月22日	日配商・全配協配置部会・全配協会議	…於) 東京
	7月20日	日配商通常総代会	…於) 東京
	7月21日	全配協通常代議委員会・通常代議員会・講演会	…於) 東京
	10月14日	関東配置薬協議会秋季会長会	…於) 埼玉
	12月2日	全配協配置部会・日配商合同役員会議	…於) 東京
	〃	全国協議会長・日配商支部長合同会議	…於) 東京
平成23年	1月13日	富山部会定期総会	…於) 富山
	1月20日	(社)東京都薬剤師会賀詞交歓会	…於) 東京
	1月24日	(社)東京都医薬品登録販売者協会新年祝賀会	…於) 東京
	2月18日	東京薬業協同組合連合会・東京都医薬品小売商業組合 合同 新年の集い	…於) 東京
	3月17日	全配協配置部会役員会	…於) 東京
			以上

平成22年度 正味財産増減計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日まで
(第31期)

(単位：円)

科 目	決 算 額			備 考
	当 年 度	前 年 度	増 減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1 受 取 会 費	8,517,000	8,863,000	△ 346,000	予算 { 甲 200名 乙 250名 } 決算 { 甲 204名 乙 273名 }
1 受 取 会 費	8,517,000	8,863,000	△ 346,000	
2 受 諾 事 業 収 益	1,543,000	2,729,000	△ 1,186,000	
1 全 配 協 補 助 金	200,000	1,298,000	△ 1,098,000	
2 資 質 向 上 対 策 費 助 成 金	736,000	674,000	62,000	
3 日 配 商 補 助 金	0	0	0	
4 日配商東京都支部補助金	100,000	50,000	50,000	日配商東京支部より助成金
5 東 京 都 委 託 金	507,000	707,000	△ 200,000	講習会費・ 9/8都より委託費30万円追加
3 雑 収 益	2,831,010	443,582	2,387,428	
1 受 取 利 息	2,178	4,701	△ 2,523	定期預金・普通預金
2 受 講 料 収 入	2,631,000	288,000	2,343,000	一定水準資質向上講習会受講料 賦課金会費徴収手数料、 支部還元費 手引書・商取引確認書代
3 雑 収 益	197,832	150,881	46,951	
経 常 収 益 計	12,891,010	12,035,582	855,428	
(2) 経常費用				
1 事業費				
1 指導教育に関する事業費	4,944,832	2,486,962	2,457,870	
1 講 習 会 費 (協 会)	1,457,667	1,680,015	△ 222,348	※賃借料より¥27,667充当
1 講 師 料	190,000	330,000		一定水準資質向上講習会
2 賃 借 料	230,110	330,740		5回実施。併せて873名参加
3 旅 費 交 通 費	37,890	85,710		外部講師料・交通費・印刷製本
4 通 信 運 搬 費	188,070	287,032		会場費・付帯設備費等
5 印 刷 製 本 費	581,012	444,536		テキスト印刷製本等
6 費 用 弁 償	217,260	178,590		
7 記 録 費	3,449	4,516		
8 雑 費	9,876	18,891		
2 東京都委託講習会費	309,914	666,306	△ 356,392	※賃借料より¥21,853充当 ※薬草勉強会費より¥8,061充当
1 講 師 料	60,000	75,000		外部講師講演料
2 賃 借 料	50,520	48,900		2回実施。併せて245名参加
3 旅 費 交 通 費	23,680	21,000		会場費・付帯設備費等
4 通 信 運 搬 費	62,634	63,613		テキスト印刷製本等
5 印 刷 製 本 費	91,005	450,605		
6 費 用 弁 償 費	20,000	3,180		
7 記 録 費	1,603	4,008		

8 雑 費	472	0		
3 給 料 手 当	2,064,829	0	2,064,829	※薬草勉強会費より¥15,339充当 ※献血促進活動費より¥49,490充当
1 給 料	2,064,829	0		職員全給料の2/3(含む残業手当)
4 賃 借 料	950,480	0	950,480	※講習会費(協会)へ¥27,667流用 ※講習会費(委託)へ¥21,853流用
1 賃 借 料	950,480	0		全賃借料の2/3
5 表 彰 費	161,942	140,641	21,301	※献血促進活動費より¥30,025充当 ※情報収集及び刊行物発行費より ¥27,000充当 ※相談事業費より¥4,917充当
1 記 念 品 費	73,667	39,337		優良配置業者表彰
2 旅 費 交 通 費	0	1,260		永年勤続者表彰
3 通 信 運 搬 費	7,780	4,680		薬事功労賞関係表彰
4 印 刷 製 本 費	73,355	84,324		薬事功労表彰資料作成料
5 費 用 弁 償 費	7,140	11,040		
6 分 担 金	0	0		表彰祝賀会
2 薬事知識普及啓発のための事業費	230,909	237,752	△ 6,843	
1 都民への薬草勉強会費	146,600	171,888	△ 25,288	※講習会費(委託)へ ¥8,061流用 ※給料手当へ ¥15,339流用
1 広 告 宣 伝 費	9,530	16,289		薬草勉強会 都民参加 都立薬用植物園に於いて 都民に呼びかけて開催
2 旅 費 交 通 費	8,000	8,180		
3 通 信 運 搬 費	2,151	7,258		
4 印 刷 製 本 費	36,225	40,425		
5 費 用 弁 償 費	49,660	60,420		
6 記 録 費	2,520	8,665		
7 雑 費	38,514	30,651		
2 都民、消費者への情報開示費	84,309	65,864	18,445	※予備費より¥24,309充当
1 インターネット、ソフト料	84,309	65,864		インターネットによる情報開示 諸費
2 通 信 運 搬 費	0	0		
3 記 録 費	0	0		
3 薬事衛生事業への協力費	433,144	424,319	8,825	
1 献 血 、 促 進 活 動 費	40,485	121,801	△ 81,316	※給料手当へ ¥49,490流用 ※表彰費へ ¥30,025流用
1 旅 費 交 通 費	0	0		
2 通 信 運 搬 費	1,470	8,837		
3 費 用 弁 償 費	38,000	107,320		
4 記 録 費	1,015	5,343		
5 雑 費	0	301		
2 麻薬撲滅活動協力費	392,659	302,518	90,141	※支部活動費へ ¥14,917流用 ※上部団体会議費へ ¥22,424流用
1 旅 費 交 通 費	0	0		「6・26国際麻薬乱用撲滅」 都民の集いに協力 紙風船麻薬覚せい剤防止センター へ寄附(都委託料)
2 通 信 運 搬 費	525	0		
3 寄 贈 費	279,396	201,399		
4 費 用 弁 償 費	101,400	94,260		
5 記 録 費	11,338	6,859		
4 相 談 事 業 費	0	0	0	
1 電 話 相 談 費	0	0	0	※表彰費へ ¥4,917流用 ※支部活動費へ ¥5,083流用
1 諸 謝 金	0	0		

	2 旅 費 交 通 費	0	0		
5	支 部 活 動 事 業 費	320,000	400,000		
	1 支 部 活 動 事 業 費	320,000	400,000	△ 80,000	※麻薬撲滅協力費より¥14,917充当 ※相談事業費より¥5,083充当
	1 東 部 支 部	100,000	100,000		実費精算方式
	2 西 部 支 部	100,000	150,000		3支部の残金合計¥120,862は雑費 益へ
	3 多 摩 支 部	120,000	150,000		
6	情報収集及び刊行物発行費	83,000	83,000	0	
	1 機 関 紙 発 行 費	83,000	83,000	0	※表彰費へ¥27000流用
	1 費 用 弁 償 費	20,000	20,000		編集発行
	2 旅 費 交 通 費	0	0		
	3 通 信 運 搬 費	0	0		
	4 印 刷 製 本 費	63,000	63,000		
7	上 部 団 体 会 議 費	185,811	124,950	60,861	内外関係団体へ出席
	1 全 配 協 会 議 費	35,000	24,370	10,630	※関配協議費へ¥25,000流用
	1 会 議 費	30,000	10,000		会議費、交通費 他
	2 旅 費 交 通 費	0	0		
	3 費 用 弁 償 費	5,000	14,370		
	2 関 配 協 会 議 費	150,811	100,580	50,231	※麻薬撲滅協力費より¥22,424充当 ※全配協議費より¥25,000充当 ※予備費より¥32,387充当
	1 会 議 費	72,861	49,000		会議費、交通費
	2 通 信 運 搬 費	1,240	500		
	3 旅 費 交 通 費	710	16,080		
	4 費 用 弁 償 費	76,000	35,000		
	事 業 費 計	6,197,696	3,756,983	2,440,713	
2	管理費				
	1 費 用 弁 償 費	408,000	399,730	8,270	役員等 ※関配協負担金より¥8,000充当
	2 給 料 手 当	1,032,414	2,962,634	△ 1,930,220	職員給料(含む残業手当) ※関配協負担金より¥17,000充当 ※全配協負担金より ¥30,714充当
	3 厚 生 費	507,499	477,767	29,732	職員 中退金掛金・社会保険料他 (法定) ※全配協負担金より¥7,499充当
	4 全 配 協 負 担 金	142,000	229,000	△ 87,000	※給料手当へ¥30,714流用 ※厚生費へ¥7,499流用 ※旅費交通費へ¥24,260流用 ※什器備品費へ¥25,527流用
	5 関 配 協 負 担 金	200,300	200,300	0	※費用弁償費へ¥8,000流用
	6 新 聞 図 書 費	74,050	66,700	7,350	※什器備品費へ¥25,950流用
	7 旅 費 交 通 費	224,260	182,920	41,340	職員定期代含む ※全配協負担金より¥24,260充当
	8 通 信 運 搬 費	177,104	150,864	26,240	※給料手当へ¥49,136流用
	9 什 器 備 品 費	63,394	0	63,394	パソコン購入 ※全配協負担金より¥25,527充当 ※新聞図書費より¥25,950充当 ※消耗品費より¥1,917充当 ※什器備品費へ¥1,917流用
	# 消 耗 品 費	3,864	2,900	964	
	# 修 繕 費	0	10,000	△ 10,000	
	# 印 刷 製 本 費	189,198	134,430	54,768	総会資料等 ※雑費へ¥60,802流用
	# 水 道 光 熱 費	139,086	133,269	5,817	※雑費へ¥10,544流用

# 賃借料	475,240	1,521,720	△ 1,046,480	事務所・会議室
# 手数料	248,144	411,664	△ 163,520	山田税務会計顧問料¥100,000 会費徴徴収代行
# 損害保険料	2,888	2,888	0	※雑費へ¥863流用
# 租税公課	70,000	70,000	0	都民税
# 雑費	221,346	126,965	94,381	慶弔費他 ※印刷製本費より¥60,802充当 ※水道光熱費より¥10,544充当
管理費計	4,178,787	7,083,751	△ 2,904,964	
経常費用計	10,376,483	10,840,734	△ 464,251	
当期経常増減額	2,514,527	1,194,848	1,319,679	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
1 固定資産除却額	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	2,514,527	1,194,848	1,319,679	
一般正味財産期首残高	6,884,624	5,689,776	1,194,848	
一般正味財産期末残高	9,399,151	6,884,624	2,514,527	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	9,399,151	6,884,624	2,514,527	

貸 借 対 照 表

平成 23 年 3 月 31 日
(第 31 期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金	606,227	370,096	236,131
普通預金	4,992,252	1,356,333	3,635,919
振替貯金	818,237	2,491,957	△ 1,673,720
当座預金	589	889	△ 300
定期預金	3,350,000	3,350,000	0
仮 払 金	200,500	115,800	84,700
流動資産合計	9,967,805	7,685,075	2,282,730
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	204,000	204,000	0
固定資産合計	299,154	299,154	0
資 産 合 計	10,266,959	7,984,229	2,282,730
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	767,000	959,000	△ 192,000
預り金	100,808	1335453	△ 1,234,645
流動負債合計	867,808	2,294,453	△ 1,426,645
負 債 合 計	867,808	2,294,453	△ 1,426,645
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	9,399,151	5,689,776	3,709,375
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	9,399,151	5,689,776	3,709,375
負債及び正味財産合計	10,266,959	7,984,229	2,282,730

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成 23 年 3 月 31 日
(第 31 期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	606,227		
普通預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	4,992,252		
振替貯金	818,237		
当座預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	3,350,000		
仮 払 金 決算総会会場費等	200,500		
流動資産合計		9,967,805	
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0		
(2) 特定資産	0		
(3) その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	204,000		
固定資産合計		299,154	
資 産 合 計			10,266,959
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費 平成23年度分	767,000		
預り金 源泉税、全配協費預り	100,808		
流動負債合計		867,808	
負 債 合 計			867,808
正 味 財 産			9,399,151

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

平成23年 4月 26日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 小 川 孝 一

監 事 中 村 聰

監 事 久 住 英 雄

監 査 報 告 書

平 成 23 年 4 月 26 日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会 長 高 山 友 三 郎 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 中 村 聡 (印)
監 事 小 川 孝 一 (印)
監 事 久 住 英 雄 (印)

私たち監事は、平成23年4月26日に、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

☆ 薬事功労賞受賞者芳名

東京都功労者表彰	中山 孝 治
東京都知事感謝状	館 川 英 夫
	尾 塩 吉 則
東京都薬物乱用防止推進協議会会長感謝状	南 宗 信

☆ 平成 22 年度 優良配置業者表彰者

東 部 支 部	該当者なし
多 摩 支 部	平 澤 一 男
西 部 支 部	小 川 孝 一

☆ 永年勤続者賞

配置販売業者

・ 60 年	針 山 友 市	長 瀬 孝 弘
・ 50 年	坪 井 文 雄	
・ 20 年	岡 田 譲 治	
・ 10 年	植 村 大 司	

配置従事者

・ 20 年	居野家 雅 人 (いのや薬品(有))	居野家 智 (いのや薬品(有))
・ 10 年	織 笠 博 文 (三山薬品(株))	田 中 貴 為 (廣貫堂薬品販売(株))
	栗 原 直 人 (廣貫堂薬品販売(株))	安 田 哲 也 (廣貫堂薬品販売(株))
	藤 木 博 巳 (廣貫堂薬品販売(株))	菱 山 正 美 (廣貫堂薬品販売(株))
・ 5 年	小 林 巧 (三山薬品(株))	河 内 貴 史 (三山薬品(株))
	大 畑 光 司 (三山薬品(株))	川 手 宏 之 (三山薬品(株))

会費等納収のお願いの件

本会は昭和 55 年 4 月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分な理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも納入期限内（6 月末日）までには是非ご協力をお願い致します。

名 称	金 額
(1) 協会費 平成 23 年度 配置販売業者 配置販売従事者（1 名につき）	19,000 円 17,000 円
(2) 全国配置家庭薬協会賦課金 全国体質強化費（対外交渉費等） 配置販売業者 配置販売従事者（1 名につき） 政治連盟費 配置販売業者 配置販売従事者（1 名につき） 資質向上対策費 配置販売業者 配置販売従事者（1 名につき）	500 円 500 円 500 円 500 円 3,000 円 3,000 円
合 計 配置販売業者 配置販売従事者（1 名につき）	23,000 円 21,000 円

☆全配協賦課金は他の道府県にて納入している場合は必要ありません。

平成23年 5月23日

会員各位

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

第31回 決算総会資料訂正のお願い

日頃より当協会運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、既に送付させていただきました平成22年度「第31回定期決算総会資料」に訂正がございます。

以下差し替えと訂正をお願い致します。

- ① 差し替え 11 ページ 貸借対照表を別紙差し替え
(表内 前年度の数字が、21年度の数字ではなく、20年度の数字の為)

- ② 訂正 15 ページ 永年勤続者賞
配置販売業者 50 年
坪井文雄氏 訂正 → 坪田文雄氏

配置従事者 20 年
居野家雅人氏 居野家智氏 は
平成20年度に20年勤続表彰をされている為、今回の記載は誤りです。

当会連絡先 東京都台東区根岸5-13-9
電話03-3876-1309

貸 借 対 照 表
平成23年3月31日
(第31期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金	606,227	61,083	545,144
普通預金	4,992,252	2,958,371	2,033,881
振替貯金	818,237	988,357	△ 170,120
当座預金	589	589	0
定期預金	3,350,000	3,350,000	0
仮 払 金	200,500	106,800	93,700
流動資産合計	9,967,805	7,465,200	2,502,605
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	204,000	204,000	0
固定資産合計	299,154	299,154	0
資 産 合 計	10,266,959	7,764,354	2,502,605
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	767,000	786,000	△ 19,000
預り金	100,808	93,730	7,078
流動負債合計	867,808	879,730	△ 11,922
負 債 合 計	867,808	879,730	△ 11,922
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	9,399,151	6,884,624	2,514,527
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	9,399,151	6,884,624	2,514,527
負債及び正味財産合計	10,266,959	7,764,354	2,502,605